

フランス音楽の夕べ

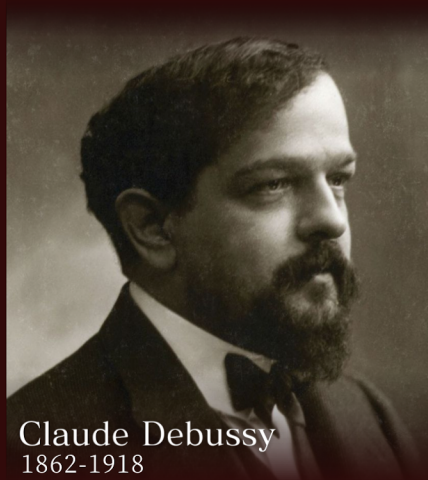
20世紀

フランス音楽の巨匠たち

ドビュッシー、そしてメシアンとデュティユー



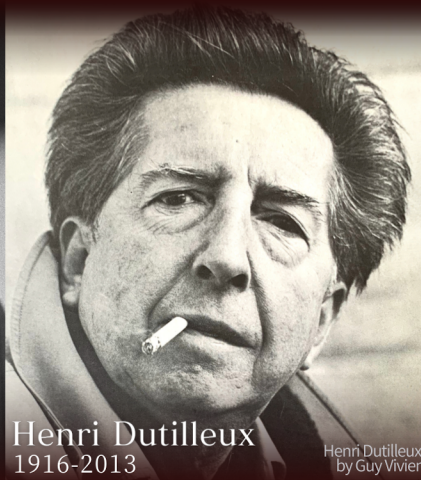
チェロ 金子鈴太郎 ピアノ 長尾洋史



Claude Debussy
1862-1918



Olivier Messiaen
1908-1992



Henri Dutilleux
1916-2013

Henri Dutilleux
by Guy Vivien

クロード・ドビュッシー

前奏曲集第1巻 より「雪の上の足跡」「西風の見たもの」「亜麻色の髪の乙女」
前奏曲集第2巻 より「奇人ラヴィエヌ將軍」「月の光が降り注ぐテラス」「水の精(オンディーヌ)」
チェロとピアノのためのソナタ

オリヴィエ・メシアン

前奏曲集 より「鳩」「悲しい風景の中の恍惚の歌」「風の中の反映」
世の終わりのための四重奏曲より「イエスの永遠性への賛歌」

アンリ・デュティユー

ザッハーの名による3つのストロフ
3つの前奏曲「暗がりと静寂から」「1つの和音で」「対比の戯れ」

2023 **10.3** 火 19:00 開演 日仏会館ホール
(18:30 開場) 渋谷区恵比寿3-9-25

チケット

一般 3,000円 学生 1,500円 日仏会館/日仏音楽協会 会員 2,000円

※学生/会員チケットをご購入の方は当日学生証または会員証をご提示下さい

9月初旬よりPeatix (公財) 日仏会館ページ (<https://fmfj-20231003.peatix.com>)にて販売開始

問い合わせ

(公財) 日仏会館 メール: bjmfj@mfjtokyo.or.jp

公益財団法人
日仏会館
Peatixページ



主催：公益財団法人日仏会館 日仏音楽協会



Les maîtres de la musique française du XX^{ème} siècle Debussy, Messiaen et Dutilleux

Claude Debussy Préludes pour piano Premier livre
« Des pas sur la neige » « Ce qu'a vu le vent d'ouest » « La fille aux cheveux de lin »
Préludes pour piano Deuxieme livre
« Général Lavine - excentric » « La terrasse des audiences du claire de lune » « Ondine »
Sonate pour violoncelle et piano

Olivier Messiaen Préludes pour piano
« La colombe » « Chant d'extase dans un paysage triste » « Un reflet dans le vent »
Quatuor pour la fin du Temps
« Louange à l'Éternité de Jésus »

Henri Dutilleux Trois Strophes sur le nom de SACHER pour violoncelle solo
Préludes pour piano
« D'ombre et de silence » « Sur un même accord » « Le jeu des contraires »

金子鈴太郎 チェロ

Rintaro Kaneko, Violoncelle

桐朋学園ソリスト・ディプロマコースを経て、ハンガリー国立リスト音楽院に学ぶ。
国内外のコンクールで優勝、入賞。
2003年～2007年 大阪交響楽団首席チェロ奏者、
2007年～2008年 大阪交響楽団特別首席チェロ奏者。
現在は各オーケストラにゲスト首席として招聘されるほか、サイトウ・キネン・オーケストラ、ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラ等で活躍中。
トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ首席、Super Trio 3°C、長岡京室内アンサンブル、東京バロックプレーヤーズ各メンバー。
響ホール室内合奏団特別契約首席チェロ奏者。
Music Dialogueアーティスト。
オフィシャルサイト <https://kanekorintaro.com>



長尾洋史 ピアノ

Hiroshi Nagao, Piano

東京藝術大学、同大学院修士課程を修了。安宅賞を受賞。宗廣祐詩、遠藤道子、米谷治郎の各氏に師事。1995年、パリ・エコールノルマルに留学。

NHK交響楽団、東京交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団など主要オーケストラとの共演、ソロ・リサイタル、多数の国内外の作品初演、主要音楽祭、NHK等のメディア出演のほか、マクサンス・ラリュエ（フルート）、ジャン＝イヴ・フルモー（サクソフォン）、パーヴェル・ベルマン（ヴァイオリン）など国内外の管楽器、弦楽器奏者と共演、その活動は多岐にわたっている。CDは「エボカシオン」「ラヴェル&ドビュッシー」（ライブノーツ）、「リスト&レーガーを弾く」（コジマ録音）、現在進行中の「長尾洋史ピアノイズムシリーズ」（録音研究室）のソロ、またミシェル・ベッケ（トロンボーン）、ワルター・アウアー（フルート）、加納悦子（メゾソプラノ）らとの共演およびCD多数。

透明で芯のある美しい音、緻密で精巧なテクニックの中に、熱くみずみずしい音楽を聴かせることのできる数少ない演奏家である。

